

2026 年度 講座・出前授業報告書 No. 6

開催日時	2026 年 7 月 29 日 (水) 開始時間 10:00 終了時間 11:30								
開催場所	エコパークさがみはら								
実施内容	煮干しの胃の中からマイクロプラスチックを見つけよう								
人 数	幼児	小 1	小 2	小 3	小 4	小 5	小 6	中 1	計
	0	6	5	5	5	3		0	26
スタッフ	8 名	ボランティア高校生			1 名	見学 2 名			

1 概要

- ・毎年エコパークさがみはらが主催している「夏休み環境教室」で今年度は「煮干しの胃の中からマイクロプラスチックを探そう」を実施した。
- ・今回は、スタッフのほかに高校生ボランティアと本会入会検討者 2 名そして北野書店取材チーム 2 名が参加しての実施となった。
- ・パワーポイントで煮干しの解剖について説明し、それぞれの臓器の特徴を話した (20 分)。続いて各自煮干しを解剖し、各臓器を探してシートに貼り付け、胃の中身をすり潰して顕微鏡で観察した。(50 分) 最後に海洋汚染をどうしたらよいか考え (10 分)、感想を記入・発表 (10 分) させて終了した。

2 実施内容

- ・小さい子は親子同伴がほとんどだったので、煮干しの解剖は親子で行っていたが、各臓器の同定は難しいようでスタッフに聞きながら作業をしていた。スタッフも分からないときはリーダーを呼んで同定してもらった。親が積極的で子供以上にかかわっていた。
- ・顕微鏡の扱いは小さい子には難しいようで、特にピント合わせに苦労していたが、スタッフと高校生ボランティアおよび入会希望の見学者の助けを借りて実施していた。
- ・マイクロプラスチック探しは難しく、今回はほとんど見つけれなかった。
- ・子どもたちは、煮干しをバラすのが大変だったけれど楽しかった、マイクロプラスチックのことがよく分かった、マイクロプラスチックは知らなかったけれど普段食べているんだなと思った、等と感想を話した。

3 良かった点、課題点など

- ・小さい子も大きい子も熱中して時間を忘れるほどであった。
- ・ある母親が理科で遊ぶう会は何をやるグループか知りたいと言い、会の活動に関心を示していた。
- ・終了後の振り返りで次の意見が出た。
スタッフが十分理解できていなかったので作業会で事前学習をしたい。
説明時にサンプルがあった方が分かりやすい。
タイトルに沿うためにこのような進め方になったが、以前のバージョンの方が分かりやすい。

